

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	10	15	たかつ地域コミュニティ活動支援事業			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671700		まちづくり推進部地域振興課			小川・山田	内線64351

事業の概要									
事業の概要		・町内会・自治会の役割や活動、地域との関わりについて理解を深め、地域社会への関心度の向上、町内会・自治会の加入促進、担い手の育成、効果的な運営等の活動の充実に取り組み、地域コミュニティ全体の活性化を図る。 ・併せて区民の主体的な地域のまちづくり活動に係る各種支援策への橋渡しの幅広い支援を図る。							
		事業開始年度 平成20年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業費	
地域の課題と現状		・住民ニーズの多様化、地域コミュニティの希薄化の中、地域社会への関心は低下し、地域社会の基礎組織となる町内会・自治会においては、役員の高齢化、後継者不足、加入率低下などの課題があり、地域社会への関心を再び高め、地域コミュニティを活性化することが求められている。 ・また、地域社会がかかえるさまざまな課題を市民自ら解決していこうとする活動が活発化する中で、市民の主体的な地域まちづくり活動への支援など区役所が果たすべき役割が高まっている。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	633	198	3,021	1,801				
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
		その他特財							
一般財源	633	198	3,021	1,801					

計画 (Plan)									
事業の目的			・町内会・自治会の活動や地域社会について、広く周知し、地域活動の関心を高め、地域社会への理解促進、未加入者に対する加入促進、担い手の育成、活動の充実等に取り組み、地域コミュニティ全体の活性化を図る。 ・区内の市民活動・まちづくり活動の活性化を図る。						
			・町内会・自治会の活動や地域社会での役割について、広く市民に周知し、興味や関心を高めてもらう紹介物の掲出、広報冊子等の配布などの周知 ・市民活動支援ルーム運営、交流会、市民活動見本市の実施						
今年度の事業の取組内容									

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		・町内会自治会加入促進パンフレットを令和5年7月30日に高津区民祭、令和5年11月12日に高津区子どもフェア、令和5年10月29日に大きな花コンサートで配布した。 ・町内会加入相談ブースを令和6年3月21日及び22日に区役所1階に設置し、区内転入者等に対しパンフレット等の広報冊子を配布し、町内会の活動や地域社会での役割を周知した。 ・若年層の町会加入や人材発掘の課題解決のため、町会長や役員を対象に令和6年2月2日に意見交換会、令和6年3月14日に研修会を実施した。 ・市民活動支援ルームの交流会を令和6年2月20日に実施した。 ・市民活動見本市（どんなもんじゃ祭り）を令和5年6月28日に高津市民館で開催した。								
数値で把握することが可能な取組		指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
		1	活動指標	イベント等における周知を図る広報チラシの配布や掲示物の設置等の実施回数	目標	5	5			回
					実績	5	5			
		2	活動指標	支援活動ルーム登録団体交流会	目標	2	1			回
					実績	2	1			
		3	活動指標	市民活動見本市参加申込団体数	目標	30	30			団体
					実績	33	35			
		4			目標					
					実績					

評価（Check）				
事業を取り巻く社会環境の変化		・町内会・自治会は役員の高齢化、後継者不足、加入率の低下、活動参加率の低下等、様々な課題を抱えている中、災害時に町内会・自治会活動を通じた支援、つながりが果たす役割は非常に大きいことから、加入促進の必要性が求められている。 ・地域社会がかかえるさまざまな課題を市民自ら解決していこうとする活動が活発化する中で、市民の主体的な地域まちづくり活動への支援など区役所が果たすべき役割が高まっている。		
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施（直近） <input type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施（ <input type="checkbox"/> 年度から）		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載				
評価項目		評価		
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由	住民意識の多様化、地域における交流機会の減少が課題となっている中、地域への関心を高めるとともに、地域コミュニティの活性化の推進が継続して求められている。		
有効性	活動結果（活動指標等）に対し事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由	来庁者が多い時期に、町内会・自治会の役割を紹介する冊子配布等を行い、町内会等未加入者を中心に普及啓発活動を効果的に実施できた。また、区内で活動を行う市民活動団体についても、活動の場を提供し活動を促進することができた。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある		b
	評価の理由	社会情勢の変化を踏まえながら、より効果的な地域コミュニティの活性化につながるような事業の実施に向け、改善の可能性はある。		

改善（Action）			
今後の事業の 方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I 現状のまま継続 II 見直し・改善のうえ継続 III 事業終了	II	・災害時や社会情勢の変化に対応するためにも、町内会や自治会における地域コミュニティの活性化の必要性は高く、地域コミュニティの活性化を阻む要因や町内会・自治会活動の課題の解消につながるよう、さらに見直し、改善の上、本事業を継続する ・市民活動団体への支援についても、団体アンケート結果等を用いて方策について検討していく。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
58	05	25	26	10	05	たかつ音楽・スポーツネットワーク事業		
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			671700		まちづくり推進部地域振興課		石丸・平井	64352

事業の概要										
事業の概要		区内にある多様な音楽・スポーツ資源を活用した事業を展開し、地域における音楽文化やスポーツへの参加機会の拡充を図り、魅力のあるまちづくりを推進するとともに、音楽・スポーツを通じた区民同士の出会いと交流を促進し、地域コミュニティの活性化を図る。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業		
		平成2年度		—						
地域の課題と現状		希薄となった地域コミュニティの活性化や世代間交流を図る取組として、区内にある多様な音楽・スポーツ資源を活用した事業を展開し、地域における音楽文化やスポーツへの参加機会の拡充を図り、魅力のあるまちづくりを推進することが求められている。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	5,088	4898	5,247	4,902					
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財			380	314				
一般財源	5,088	4898	4,867	4,588						

計画 (Plan)	
事業の目的	区民や地域の関係団体との協働により、年齢や性別、障害の有無にかかわらず誰もが楽しむことができる心のバリアフリーに配慮した各種イベントを開催し、音楽・スポーツを通じた区民同士の出会いと交流を促進し、地域コミュニティの活性化を図る。
今年度の事業の取組内容	【スポーツ】ファミリースポーツ緑日、障害者スポーツ体験イベント(スポーツインクルージョン緑日)、区内で活動するダンスチーム等を対象とした発表イベント(ダンス！ダンス！たかつ)を実施する。 【音楽】区内の音楽資源を活用し、区内の音楽活動を推進するために、花コンサート、区民音楽祭、こどもの音楽及びブラザ橋みんなで楽しむ音楽事業を実施する。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度		2	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		【スポーツ】 ①ファミリースポーツ緑日（12月2日@久本小） ②スポーツインクルージョン緑日（2月17日@高津SC） ③ダンス！ダンス！たかつ2024（2月11日@高津市民館） 【音楽】 花コンサート（計8回）、区民音楽祭（計1回・2会場開催 市民館・清ノ口劇場）、こどもの音楽及びブラザ橋みんなで楽しむ音楽事業（計14回）を実施							
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指 標	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
		1 活動指標	スポーツイベント実施回数	目標	3	3		回	
				実績	3	3			
		2 成果指標	スポーツイベント参加人数	目標	2000	3000		人	
				実績	3300	5300			
		3 活動指標	音楽イベント実施回数	目標	23	21		回	
				実績	23	21			
		4 成果指標	音楽イベント参加人数	目標	2750	2700		人	
				実績	2728	3284			

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		地域包括ケアシステムや障害者差別解消法の施行により、障害の有無に関わらず、誰もがお互いを認め合い交流できる場の提供が必要となっている。また、かわさきパラムーブメントに基づくレガシー形成に向けた取り組みとして音楽文化やスポーツに対する機運が高まっている。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 元 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		【スポーツ】かわさきパラムーブメントの取り組みとして、平成30年度から新たに障害者スポーツ体験イベントを実施した。令和元年度から、地域コミュニティの活性化を図ることを目的としたダンスイベント事業を開催した。		
評価項目				
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	かわさきパラムーブメントに基づくレガシー形成に向け、音楽やダンス文化、スポーツに対する気運が高まる中で、心のバリアフリーを目指した事業への関心やニーズは高まっており継続的な実施が必要である。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	多くの事業で定員を超える応募があり、目標を大幅に上回る参加者を得ていることから、成果は上がっているといえる。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	各委託先との協議を行い、役割分担の見直しや事業の効率化などについて改善の可能性はある。		

改善（Action）			
今後の事業の 方向性	方向性区分	方向性	実施結果（Do）や評価（Check）を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	さらなる多世代交流、かわさきパラムーブメントの推進を目指し、区内の音楽、ダンス文化、スポーツに関するイベントを開催することで、地域の活性化と参加者同士の交流につながるよう機会を創出していく。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	10	10	たかつまちおこしネットワーク事業			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671700		高津区役所地域振興課			田鍋	64352

事業の概要										
事業の概要		取組イベントを通じて、青少年の健全育成、親子のふれあいと健康増進並びに近隣相互の親睦を深めあうことによって、地域の活性化を図る。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域コミュニティ活性化事業			
		昭和41年度		—						
地域の課題と現状		近年マンションや新興住宅の建設が進み、地元住民と新規住民が接する場が少なくコミュニティの希薄化が課題となっている。 また、高津区区民生活に関わるニーズ調査(令和2年度実施)でも、「近隣の住民同士の関係が薄れている」と、まちの課題・問題点に挙げる区民が増加傾向にある。本事業は、長い伝統と歴史に育まれて地域に定着している事業であり、今後も継続して実施することとで、地域の親睦を図るとともに地域コミュニティの形成を図る。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	3,125	1279	3,125	2,574					
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
		一般財源	3,125	1279	3,125	2,574				

計画 (Plan)	
事業の目的	地域交流の活性化と高津区の魅力と地域特性を知る機会を提供すること。
今年度の事業の取組内容	【親子運動会】 各地区とも実行委員会形式をとり、高津地区連合町内会、橘地区連合自治会を中心に関係団体で構成する。年に数回、実行委員会を開催し、その他に団体ごとに会議を開催する。様々な団体との連携による円滑な事業実施を図る。 【ふるさと祭り】 移動動物園やゲームコーナー、工作など子ども向けイベントを実施する。 【子どもフェア】 各団体からの推薦者により構成される運営委員会を組織し、運営委員会を主体に水辺での自然観察イベント、風揚げ等のなつかしい遊びのイベントを実施する。 【スプリングフェスタ】 国の登録有形文化財である円筒分水を通じて、地域の活性及びにぎわいの創出を目的としてイベントを実施する。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		・親子運動会:開催に向けた会議等を開催し、開催時間帯、規模、種目等について、具体的に検討を重ね、開催時間の短縮(半日開催)、誰でも参加できる競技の実施等、新たなプログラムを企画したが、雨により両地区とも中止となった。 ・ふるさと祭り:8月6日(日)川崎市民プラザにて実施 参加者:5000名 ・子どもフェア:11月13日(日)二子河川敷にて実施 参加者:1,500名 ・円筒分水スプリングフェスタ:4年ぶりに開催準備を進め、雨天順延したが、3月24日(日)で実施。参加者:600名								
数値で把握することが可能な取組		指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
		1	成果指標	親子運動会参加者	目標	7,000	7,000			人
					実績	中止	中止			
		2	成果指標	ふるさと祭り来場者数	目標	2,000	2,000			人
					実績	200	5,000			
		3	成果指標	子どもフェア参加人数	目標	1,500	1,500			人
					実績	1,000	500			
		4	成果指標	円筒分水スプリングフェスタ参加者	目標	1,000	1,000			人
					実績	中止	600			

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ここ数年開催できない状況が続く、都市化や地域コミュニティの希薄化が更に進む中、地域の自然との触れ合い、子供達の仲間作り、地域の活性化、地域社会への関心を高めることが求められる。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input checked="" type="checkbox"/> 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(6 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		委託団体や関係団体と密に会議や連絡調整を行いながら費用対効果を十分に考慮した企画・運営、及び事務改善を進めていく。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子供の数が増え、地域コミュニティの希薄化から地域組織の減少が進み、これに伴う地域イベントも減少している中、子供達が地域の自然に触れ合う機会、地域社会への関心を高める機会を提供する意義は大きく、多くの住民が来場し子供達を中心とした地域交流の場とする事業に対するニーズは高いと考えている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	今年度開催したイベントについては、安定した参加者を得ていることから、順調と考えている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	委託団体や関係団体と密に会議や連絡調整を行いながら費用対効果を十分に考慮した企画・運営、及び事務改善を進めていく。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分		実現結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	■住民ニーズに適切した事業展開を目指すと共に、さらに効率的・効果的な運営を視点に入れて継続して実施していく。 ■各地域の特色をより生かせる事業を行うことで「地域の活性化」、「ふるさと意識の醸成」を進める。 ■地域団体等と協力し、事業の執行方法等を工夫・改善しながら、世代間交流地域の自然、社会環境の理解促進を図る機会を、引き続き提供する。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	10	30	高津区学習・文化ネットワーク事業			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671750		高津区役所生涯学習支援課		水野	814-7603	

事業の概要										
事業の概要		外国人市民と日本人市民が違いを認め合い、ともに生きる社会をつくることを目的とした多文化共生推進事業、生涯学習を推進する施設間の連携強化を目的とした生涯学習支援事業を実施することにより、幅広い区民間交流や地域参加を促し、コミュニティの活性化を図ります。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域コミュニティ活性化事業			
		—		—						
地域の課題と現状		歴史的・文化的資源に恵まれ、多くの生涯学習施設をもつ高津区には、あらゆる世代が生活し、また外国人市民の人口も急速に増加しています。このような状況においては、区内の人材や資源を活用し、また外国人市民と日本人市民が互いに違いを認め合える事業を実施することにより、世代や出身を問わず幅広い区民が交流する機会を設ける必要があります。								
予決算 (単位:千円)	財源内訳	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	623	555	603	468				
		国庫支出金								
		市債								
		その他特財	15							
一般財源	608	555	603	468						

計画 (Plan)	
事業の目的	区民が区の魅力を再確認し、国籍・民族・文化の違いが多様性や豊かさにつながることを実感できるようにします。
今年度の事業の取組内容	外国人市民が安心・安全かつ楽しく生活することを目的とした防災訓練、まちあるき、浴衣体験、学習支援等を行う多文化共生推進事業、区内生涯学習施設による出前講座を実施

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	4月15日～令和6年3月23日の間で、多文化共生推進事業として多文化ワークショップ、文化体験、地域めぐり、防災訓練、多文化子ども塾(事業)を実施 11月6日～令和6年2月7日の間で、生涯学習支援事業「出前講座」を3講座開催								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	講座の実施	目標	30	21			回
				実績	30	21			
	2	成果指標	体験活動事業の実施(参加者)	目標	30	25			人
				実績	30	24			
	3	成果指標	体験活動事業の実施(満足度)	目標	60	60			%
				実績	70	90			
	4	成果指標	講演会の実施(参加者)	目標	30	30			人
				実績	30	29			

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		外国人市民の人口は依然増加傾向にあるため、誰もが互いに認め合いながら共生するまちづくりを図る多文化共生推進事業の継続と更なる事業内容の充実が求められています。区内施設による出前講座は満員になる講座が多く、区民の関心は高いと感じられます。よって事業の継続が求められています。			
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 4 年度 □ 今後実施(年度から)			
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		令和4年度まで当事業で実施していた文化振興事業は実施形態の見直しを行い、令和5年度からは社会教育振興事業(教育費)で継続実施することとしました。結果、事業テーマの固定化の解消と経費削減を行いました。			

評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	外国人市民の人口は増加傾向にあり、コロナ後も区民の学習意欲も高まっているため、本事業のニーズは高いと考えられます。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	多文化共生事業の毎回の参加者数は増加傾向にあり、出前講座は多くの講座が満員のため、一定の成果があったと考えられます。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	多文化共生事業では日本人と外国人市民が相互理解する場を設け仕様の見直しをした。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	外国人市民の人口は依然増加傾向にあり、コロナ後は区民の学習意欲も高まっています。一方で外国人市民のニーズや区民が求める学習内容や形態には変化がみられるため、事業の目的や方向性は維持するものの、それらの変化に対応すべく見直しや改善を行った上で継続することが適切であると考えられます。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	10	40	区民祭開催経費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671600		まちづくり推進部総務課			八木	64112

事業の概要										
事業の概要		地域コミュニティの活性化を図るため、地域に密着した事業である高津区民祭の開催を支援します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域コミュニティ活性化推進事業費			
		昭和49年度		—						
地域の課題と現状		高津区民祭は、地域有志や地縁団体により構成される実行委員会の主催で開催される祭りで、実行委員会事務局も地域有志が担っています。地域活性化や郷土愛・互助精神の醸成に寄与する事業として、引き続き区民祭の開催を支援する必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	200	0	200	200					
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
一般財源	200	0	200	200						

計画 (Plan)	
事業の目的	地域に密着した事業である高津区民祭の開催を支援することで、地域コミュニティの活性化を図ります。
今年度の事業の取組内容	区民により構成される高津区民祭実行委員会に対し後援名義使用を承諾し、実行委員会に対し補助金を交付します。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	区民祭の広報充実を目的に、実行委員会に対し補助金を交付するとともに、市の後援名義を承諾しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	区民祭の実施	目標	1	1			
				実績	0	1			
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		区の人口が増加している中、新規住民の郷土意識醸成は継続して課題となっており、区民祭の開催を通じて地域の絆を深める互助精神を養うため、広報の工夫等により区民への参加を一層積極的に促す必要があります。		
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近)	年度	<input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載				
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域包括ケアシステムの構築や地域防災において、地域住民の互助連携の重要性が高まっている状況の中で、区民祭は地域住民がコミュニティに参加する機会を提供していると考えます。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	パレードは規模を縮小しての開催となりましたが、各拠点での出店や参加団体数は前回開催時と比較して、概ね同様に維持できており、各会場イベントの運営スタッフには新規住民の参加も得られています。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性が有ります。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	区役所主催事業ではなく、補助金額も主催者である実行委員会からの申請によりますが、補助対象である広報事業について、協力や実施手法に関する助言等により効率を向上させる余地はあると考えます。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	区民祭実行委員会の動向等を把握しながら、継続して支援を行います。